

めでいかすとり *Médicastre*



「南高梅の花」

鶴岡地区医師会勉強会

日時：平成31年3月8日(金) 19:00～
場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

「2040年に向けて地域包括ケアから共生社会へ」

厚生労働省 関東信越厚生局長
北窓 隆子 先生

1. 団塊の世代が後期高齢者となる2025年をターゲットイヤーとして地域包括ケアシステムの構築を進めてきた。来年度の10月に消費税の増税をもって税と社会保障の一体改革は一区切りを迎える。今後は団塊ジュニアが高齢者となり、高齢者人口がピークを迎える2040年に向けた青写真を描くべく準備を進めている。

人口構造の推移を見ると、2025年以降、「高齢者の急増」から「現役世代の急減」に局面が変化することから、現役世代の人口が急減する中での社会の活力維持向上及び労働力の制約が強まる中での医療・介護サービスの確保が課題となる。

2. 医療提供体制について

2016年度に地域医療構想を全都道府県で策定済みである。2018年度末までの全ての公立・公的医療機関における具体的対応方針の合意形成に向け、議論活性化、インセンティブ設定等を実施。2019年度前半に策定された具体的対応方針を詳細に検証し、着実な実施や地域医療構想実現のために必要な施策を講じる。

その他、医師の働き方改革、医師の偏在問題、新専門医制度等の課題がある。

こうしたなかで、都道府県の権限が強化され、医療政策に力を発揮できる人材養成が急務となっている。

また、医師確保については若い医師や研修医の医師に議論が偏りがちであるが、シニア医師のUIターンについて地元が知恵や人脈を活用

して行えることはまだまだある。その際に医師会と大学医学部と行政との連携は必要であるが、完全に同化してはいけない。各々の立ち位置に立脚した健全な議論が必要。

3. 2月よりWHOの西太平洋事務局長に葛西氏が日本人としては3人目の事務局長に就任し、感染症対応、生活習慣病対応、気候変動を含む環境問題を優先的に取り組むとしている。葛西氏の当選は日本のUHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）に対する信頼に他ならない。UHCとは、「すべての人が、そのための支払いによる経済的困難に陥ることなく、質の高い保険医療サービスにアクセスできる状態」であり、1961年の国民皆保険の達成をもって我が国はUHCを達成したとされている。

4. 地方厚生局は厚生労働省の地方支分部局であり、全国に8(支)局が設置され、保健、医療、福祉、医療保険、年金、麻薬取締等の幅広い実務を行っている。3年前には地域包括ケア推進課が設置され、自治体における地域包括ケアシステムの構築を支援している。「厚生」とは中国の「書経」にその出典を認める、人々の生活を豊かにするという意味の言葉である。この意味に恥じない役割を担っていきたい。

荘内地区健康管理センター協力医会

日時：平成31年3月22日(金) 19：00～

場所：グランド エル・サン

3月22日(金)、荘内地区健康管理センター協力医会をグランド エル・サンを会場に開催いたしました。日頃からセンター事業における健診の診察、読影、診断等でご協力いただいている会員の先生方26名と、職員22名を合わせた48名が参加し、今年度より健康管理センター長に就任された、石原良先生の進行で開会いたしました。会長の土田兼史先生よりごあいさつをいただき、その後昨年同様各部会、検診委員会で話し合われた内容の報告、平成30年度センター事業実施報告と31年度の事業計画について報告を行いました。参加された先生方からご質問やご意見もいただきました。

その後、29年度末に健康管理センターを勇退された鈴木伸男先生より乾杯のご発声をいただ

き、和やかな雰囲気でご懇親会が始まりました。センター職員との久しぶりの懇親の場を楽しみにされていたとお言葉と、鈴木先生のお変わりないはつらつとしたお姿を拝見し、我々も嬉しい気持ちになりました。懇親の場では、先生方とお話する数少ない機会をいただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。

閉会のあいさつは副会長の小野俊孝先生よりいただき、新年度へ向けて高い意識をもち頑張っていこうと、職員一同、身の引き締まる思いを抱きながらの閉会となりました。

会員の先生方へ平成30年度のご協力に改めて感謝申し上げます。新しい年度もどうぞよろしく願いいたします。

総務企画課 瀬尾 綾



山形県病院協議会リハビリテーション専門部会 シンポジウム開催のご案内

鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

院長 武田 憲夫

県内の58病院が加盟している山形県病院協議会に、幾つかの専門部会がありますが、平成29年度と30年度の「リハビリテーション専門部会」の担当病院に当院が指名され、院長の私武田が部会長を仰せつかっています。平成29年度の専門部会の行事に関しては、去る平成30年(2018)6月23日(土)、鶴岡地区医師会館講堂で、「地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーションの役割と問題点」というテーマでシンポジウムを開催し、県内から91名のご参加を頂き、充実した会を開催することが出来たと感じております。「地域包括ケアシステム」は、高齢者や障害者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活が出来るように、行政、医療、介護、福祉などが協力して必要なサービスを提供する基本システムとして、国や自治体はその構築を各地域で推進しているところです。

さて、今年度の本専門部会の活動は、当院の実行委員会で話し合い、これから益々重要になってくると思われる高齢者、認知症患者の在宅医療、在宅リハビリテーションを取り上げてシンポジウムを開催することに致しました。高齢化社会と共に、在宅医療の充実が叫ばれており(山形県地域医療構想 2016)、また、高齢化と共に認知症患者も増加してきます。我々医療人は、これらにどう向き合い、どう対応して行くべきかが問われています。このため、この度のシンポジウムの主題は「地域における高齢者、認知症患者に対する在宅リハビリテーションと在宅支援について」と致しました。基調講

演は、群馬県前橋市で、2013(平成25)年から、国のモデル事業として立ち上げた「認知症初期集中支援チーム」の中で、認知症の方やその家族を訪問支援する取り組みなどで実績を積んでいらっしゃる、群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 作業療法専攻教授 山口智晴先生にお願いし、ご快諾頂きました。シンポジストは、県内各地域でご活躍の皆さまにお願い致しました。なお、今年のシンポジストは、リハビリテーションスタッフのみで構成していましたが、この度は、日頃患者、家族とより密接に繋がりを持っている看護師の立場からご意見を頂くため、広い情報網をお持ちで、様々な方面でご活躍のこちらの医療センター看護師の三原美雪氏にもご参加をお願いし、ご快諾頂きました。各シンポジストの方々から、現在それぞれの地域で行われている現場の状況、自慢出来る点、苦労している点、困っている点、将来に向けての方向性、提案、現在現場で働いている方々へのアドバイスなどをご発表くださるようお願いしています。

会員諸先生方、また関連施設職員の皆様におかれましては、地域における高齢者、認知症患者に対する在宅リハビリテーションや在宅支援体制についての再認識と今後の方向性についての情報収集としてお役に立てて頂きたいと思っております。また、多くの方にご参加頂き、日頃のお考え、ご経験を若い医療人に発信して頂けると大変有り難いです。ご参加をお待ち致しております。

平成30年度、山形県病院協議会 「リハビリテーション専門部会」シンポジウム概略

1. 日 時 2019年 5月11日(土) 13:30開会 17:30閉会予定
2. 会 場 鶴岡地区医師会館 3階講堂
 〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町1-34
3. シンポジウムテーマ、主題
 「地域における高齢者、認知症患者に対する
 在宅リハビリテーションと在宅支援について」
4. 基調講演
 司会：武田 憲夫氏（鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院）
 演者：群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 作業療法専攻
 教授 山口智晴氏
5. シンポジスト
 座長：富村 香里氏（鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院）
 演者：清野 敏秀氏 作業療法士 朝日町立病院
 黒田 昌宏氏 理学療法士 社会医療法人みゆき会 みゆき会病院
 佐藤 広章氏 言語聴覚士 在宅リハビリ看護ステーションつばさ
 米沢サテライト
 佐藤 裕邦氏 作業療法士 介護老人保健施設うらら
 三原 美雪氏 看護師 山形県立こころの医療センター

医師会ニューフェイス

～平成31年4月1日採用～

①氏名 ②所属 ③趣味・特技 ④ひとこと



- ① 蛸 名 愛 理
② 総務課 総務係 一般職
③ ドライブ
④ 不慣れな事も多く、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



- ① 小松原 薫
② 荘内地区健康管理センター 健診課 診療放射線技師
③ バイク、手芸
④ 多くの事を学び、身に付け、信頼にたたる人間になりたいと思います。



- ① 本 間 穂乃佳
② 荘内地区健康管理センター 臨床検査課 臨床検査技師
③ バスケット、音楽をきくこと
④ 社会人1年目でわからないことばかりですが、いろいろなことに積極的に取り組んでいきたいと思っています。



- ① 佐 藤 彩
② 荘内地区健康管理センター 臨床検査課 臨床検査技師
③ 料理
④ 一日でも早く仕事を覚えられよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



- ① 佐 藤 拓 海
② 湯田川温泉リハビリテーション病院 リハビリテーション課 理学療法士
③ スポーツ観戦
④ 1年目らしく元気ハツラツと何事にも取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



- ① 佐 藤 優
② 湯田川温泉リハビリテーション病院 リハビリテーション課 理学療法士
③ バスケット、スノーボード
④ 社会人、理学療法士1年目として多くのことに挑戦し、先輩の先生方からたくさんの知識を吸収させて頂けるよう積極性をもって頑張ります！



- ① 宅 井 克 嘉
② 湯田川温泉リハビリテーション病院 リハビリテーション課 理学療法士
③ 読書
④ 様々な職を経て現職に至りました。しかし医療については未熟者ですので、ご指導宜しくお願いします。



- ① 伊 藤 瑞 季
② 湯田川温泉リハビリテーション病院 リハビリテーション課 作業療法士
③ 音楽を聴くこと、大学では花笠を踊っていました。
④ 色々なことに興味をもって、成長していきたいです！これからどうぞよろしくお願いいたします！



- ① 石 川 智 佳
② 湯田川温泉リハビリテーション病院 リハビリテーション課 作業療法士
③ 体を動かすこと
④ OTとして働くのは2年ぶりになります。ブランクを早く埋められるよう精一杯努力していきます。よろしくお願いいたします。



- ① 工 藤 栞 音
② 湯田川温泉リハビリテーション病院 リハビリテーション課 作業療法士
③ ピアノ
④ これからよろしくお願いいたします。



- ① 佐 藤 祥 穂
② 湯田川温泉リハビリテーション病院 看護課 看護師
③ ショッピング、掃除
④ 新社会人で不安なことが多くありますが、謙虚に日々誠実に仕事に励みたいです。よろしくお願いいたします。



- ① 河 崎 海 音
② 湯田川温泉リハビリテーション病院 看護課 看護師
③ 美味しいもの巡り、チューバの演奏
④ これから看護師、そして新社会人としてたくさんのことを学び吸収していきます。患者さんの支えとなるような看護師を目指し頑張ります。よろしくお願いいたします。



- ① 柴 田 菜 緒
② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 看護師
③ 写真を撮ること
④ 地域に貢献しうる人材になれるよう、日々自己研鑽を積んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。



- ① 新 野 聡 子
② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 看護師
③ スキー、映画鑑賞
④ 新しい環境に緊張していますが、一日でも早く一人前の看護師になれるよう努めていきます。よろしくお願いします。



- ① 鈴 木 千 帆
② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護福祉士
③ スポーツ全般、音楽
④ 明るさを忘れず、笑顔を心掛けてがんばります。



- ① 太 田 加 世 子
② 在宅サービスセンター 訪問看護ステーション ハローナース 看護師
③ 映画鑑賞、娘のバドミントン観戦
④ 利用者さんと家族の方が気軽に相談できる雰囲気作りを大切にしながら、在宅看護のお手伝いをしていきたいと思っています。



- ① 今 野 和 恵
② 地域包括支援センターつくし
生活支援コーディネーター
③ ゴルフ、編み物
④ 地域の人達と早くなじめるよう頑張ります。



表 紙

「南高梅の花」

齋藤 壽一

我が家の庭にはほぼ20年になる「南高梅」が二本あった時の花である。

毎年、「気品」を感じる花は咲くが、元々、南の和歌山地方の品種で、気候が合わないのか実のなりがとても少ないことから、今年ついに庄内の「おぼこ梅」という品種と入れ替えた。さて、今度はどんな花が咲くか、どんな実をつけるか楽しみである。

編 集 後 記

新年度が始まりました。

初夏に近い日差しの時もあれば、雪が降ったり、霜が降りたりの今日この頃ですが、暖かい地方では花見が盛りようです。確実にしっかりと春がやってきます。幾度繰り返しても、うきうきする季節です。

この時期は、職場の異動、退職・退任される方がおられます。医師会内でも退職慰労会や歓送迎会が各部門で行われています。先日の理事会では、荘内病院三科院長からご丁寧な退任のご挨拶と新院長になれる鈴木先生のご紹介がございました。重責のお役目、大変ご苦労様でございました。また、鈴木新院長には今後ともよろしくお願いいたします。

一方鶴岡地区医師会には新しく17人が入職いたしました。各人の職種、プロフィールが本号に紹介されています。医療の現場はやりがいのある、充実感のある、そして責任の重い大切な仕事です。皆さんが医師会の欠かせない職員の一人一人として精進されること、また私たちも他の職員ともども、同僚として協力しながら、仕事に励みたいと考えています。よろしくお願いいたします。

今年度は元号が変わること、長い連休ができること、消費税が上がることなど、医療機関にとってはいろいろ面倒なことが多い年になりそうです。その中でも新しい人を迎え、新しい年度を迎え、身が引き締まります。

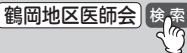
会員の先生方には、よろしくご支援賜りますように、お願いいたします。

(小野 俊孝)

編集委員：渡邊秀平・小野俊孝・三科 武・佐久間正幸・木根淵智子・中目哲平

発 行 所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町 1－34

TEL 0235－22－0136 FAX 0235－25－0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております  URL <http://www.tsuruoka-med.jp>